

- 1-8 特集 文化会館開館40周年 つなぐ 文化の灯
- 9 街の話題/コラム
- 10 新庁舎整備の基本構想を策定
- 11-12 お知らせ

つなぐ



文化の灯



特集 文化会館 開館40周年

1978年に開館した文化会館は、11月2日に40周年を迎えます。演劇、音楽、郷土芸能、絵画、書道など、多種多様な文化活動の拠点として、重要な役割を担ってきました。特集では、開館からの歩みをたどるとともに、未来に向けて文化の灯をつなぐ市民の皆さんの姿を紹介します。

図文化生涯学習課 ☎225-2508

「僕たちには夢がある。私たちには夢がある。今、その夢に向かって、この一歩を踏み出すんだ。」子どもたちの未来を照らす言葉が、厚木市文化会館の小ホールを埋めた観客の心に、ほのかな明かりをともします。

「あつぎ舞台アカデミー」は「あつぎ文化芸術特別大使」の横内謙介さんを中心に、舞台活動を通じて子どもたちの可能性を磨く場所です。毎年、夏休み中の集中稽古を経て、みんなで一つの舞台を作り上げていきます。文化会館を拠点に、笑い、泣き、悩み、喜び合ったひと夏の日々を追いました。(2,3面に続く)



市民合唱団

市民ミュージカル

HJK みんなが主役に

「多くの皆さんに舞台上に立ちたい」。そんな思いから、市では市民の皆さんの参加を募り、1年ごとに「市民合唱団」と「市民ミュージカル」の公演を実施しています。世代を超えて集まったメンバーが約半年間の練習を経て、一体感ある歌や演技を披露。今年12月16日に市民合唱団約180人がベートーベンの「第九」を歌い上げます。

Q みんなで文化会館の思い出を共有しよう



文化会館にまつわる思い出を募集します。「発表で舞台上に立った」「憧れの歌手に会いに行った」など、当時の思い出やエピソードを書いたメッセージカードや文化会館の思い出の写真をパネルに貼ってください。

レング調のカードにメッセージを書いてパネルを完成させよう

【期間】11月1～30日

【場所】①文化会館 (5・6・13・20・26・27日は休館) 9～18時
②あつぎ市民交流プラザ 8時30分～22時

厚木市文化会館

CC 地域の文化を次世代へ



文化会館開館40周年記念事業実行委員会 委員長 櫻田 稔さん (84)

妻田北在住。文化振興財団理事。60歳から短歌を始め、市短歌会会長や市文化協会会長の歴任。長年にわたり市の文化振興の発展に尽力している。

市民が中心となり踊りや演奏、詩歌などを披露する市民文化祭への参加や運営に20年以上携わり、何度も文化会館に足を運びました。文化会館は厚木の文化芸術を発信する拠点。40周年を迎えた今、これまで続けてきた活動に若者たちが参加できる機会を増やし、地域の文化として伝えていきたいと思っています。



文化芸術の発表や体験の場として長年市民に親しまれる市民文化祭

M 厚木で若手クラシック音楽家を育成

文化会館では、声楽をはじめ、ピアノやバイオリンなどの演奏を披露する「フレッシュアーティスト」を毎年募集しています。文化会館や市内小・中学校で、地域の皆さんにクラシック音楽の魅力を伝え、地域で愛される音楽家の育成に力を入れています。

オーディション 4～6月
詳細は、文化振興財団の広報誌(年6回。広報あつぎと同時配布)やHPに掲載



これまでに22人の音楽家が参加



G 郷土芸能まつり

相模人形芝居やささら踊り、太鼓などの市内に古くから伝わる郷土芸能を一度に鑑賞できる発表会です。

文化会館の小ホールには、観客が演目を楽しめるよう舞台の前方全体を下げ、人形と観客の視線の高さを同じにする「舟底」と客席から見て右側の床が回転する「文楽廻し」を設置しています。

P 心地よい音を奏でられる空間



バイオリン奏者 宇根 京子さん (40)

森の里在住。2005年に放M、ロストロポーヴィチと小澤征爾とのチャイコフスキーコンサートツアーに参加。06年にNHK交響楽団に入団し、国内外で活躍中。

文化会館は、小さい頃からバイオリン教室の発表会や音楽コンクールなどで舞台上に立っていたなじみ深い場所です。舞台では、緊張や興奮で胸を高鳴らせていたことを今でも思い出します。弦楽四重奏で演奏した小ホールは、室内楽にちょうど良い大きさと響きを感じられる空間で、気持ち良く演奏できました。これからも文化会館が長く美しい音楽の調べを響かせてくれますように。

A 学生時代の夢を実現したプロジェクト



一級建築士 三栖 邦博さん (77)

横浜生まれ厚木育ち。日本建築家協会名譽会員、元日建設計社長。文化会館をはじめ、伊藤忠商事本社ビル、NEC本社ビル、さいたま広域合同庁舎、中国国際貿易センターなど、国内外の建物の設計を担当。

学生時代から建築家を目指していた私は、現在の文化会館の敷地のすぐ近くに「総合芸術センター」を建てる構想で卒業設計を作成しました。10年後、偶然にも当時勤めていた設計事務所が文化会館の設計監理を手掛けることになり、厚木育ちということもあって私が設計の責任者として指名されました。学生時代から思い描いていた文化会館の設計は、50年以上にわたる建築家人生の中でも思い入れの深い仕事として心に残っています。

設計コンセプト

時代を超えて変わらない大山の姿を意識し、劇場建築として理想的な空間づくりにこだわりました。敷地を南東から北西方向の対角線で二つに分け、思名丘陵から大山につながる風景を取り込む三角形平面の建物を北側に、大山に向かって緩やかに昇りながら広がっていく三角形の広場を南側に配置する案を構想。敷地に対して斜めに立つレンガ造りの壁面と、大山を背景に四季折々に変化を見せる木立に囲まれた水盤のある広場で形作られた現在の姿は、この案から生まれました。



完成をお知らせした広報あつぎ

文化会館の歩み

演劇や音楽、郷土芸能、絵画、書道など、さまざまな文化活動の拠点として重要な役割を担ってきた文化会館が開館40周年を迎えます。文化会館に関係の深い皆さんの思い出とともに、これまでの軌跡をたどります。



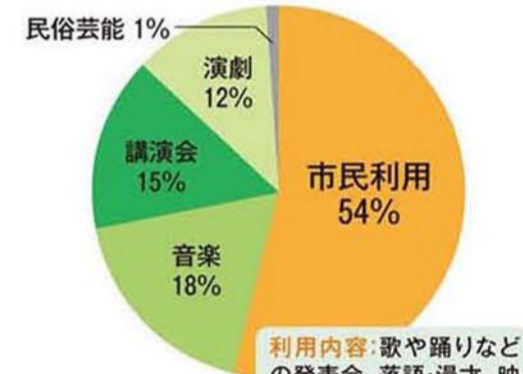
B 文化会館の落成記念式典の様子



- 1978 A 大ホール・集会室・会議室が完成
- 1978 B 文化会館落成記念式典・記念公演
- 1978 C 市民文化祭を文化会館で開催
- 1978 D 劇団四季「ウエストサイド物語」公演
- 1978 E NHK交響楽団演奏会
- 1979 F 成人式を文化会館で開催
- 1979 G 宝塚歌劇団特別公演
- 1979 H 小澤征爾と新日本フィル特別演奏会
- 1981 I 榊原郁恵コンサート
- 1982 J 小ホール・展示室・和室を増設
- 1982 K 全館完成式典・記念公演
- 1984 L 厚木市・揚州市友好都市締結調印式
- 1985 M 市制30周年記念式典・記念公演
- 1988 N 文化会館開館10周年記念特別公演
- 1990 O あつぎまつり前夜祭を文化会館で開催
- 1990 P 小泉今日子コンサート
- 1992 Q TUBEコンサート
- 1998 R 横内謙介さんが主宰する劇団扉座が文化会館で公演
- 1999 S 文化会館開館20周年記念特別公演
- 1999 T 厚木シアタープロジェクト第1回公演
- 2000 U 厚木市民朝市が文化会館駐車場に移転
- 2003 V 文化会館25周年記念事業
- 2003 W 郷土芸能まつりを初開催
- 2005 X いきものがかりコンサート
- 2007 Y 市民芸術祭を文化会館で開催
- 2008 Z 文化会館開館30周年記念事業
- 2008 AA 「リバーソング」を公演
- 2009 AB 市民合唱団が文化会館で合唱
- 2009 AC 市民ミュージカル公演を文化会館で開催
- 2010 AD あつぎ舞台アカデミーフレワークシヨップ
- 2010 AE あつぎ舞台アカデミーが開講
- 2011 AF あつぎ舞台アカデミー公演
- 2011 AG 「ドリーム・ドリーム・ドリーム」を初開催
- 2011 AH あつぎフレッシュアーティストの募集開始
- 2014 AI あつぎミュージックフェスティバルを初開催
- 2017 AJ NHK「いないいないばあ!」ワンワンまつり「みんなでワッショイ!」
- 2017 AK 響メンバーによる弦楽四重奏
- 2018 AL 文化会館開館40周年記念事業

文化会館は54%が市民利用

多くの市民の皆さんが利用し、文化・芸術活動の拠点となっています。



利用内容: 歌や踊りなどの発表会、落語・漫才、映画鑑賞、講習会・研修会、説明会、会議、展示など
(2017年度年間利用者数 19万9792人)

I 開館30周年記念公演「リバーソング」



開館30周年を記念して公演された舞台。市内出身の榊原郁恵さん、小泉今日子さんとオーディションで選ばれた6歳から70歳までの163人の市民が出演し、話題を呼びました。

F 厚木市民朝市



市内の農家や商店が新鮮な野菜や加工品などを販売。季節に合わせた特別市も好評です。
日時 毎週日曜、6～7時 (4～9月は5時30分から)
場所 文化会館駐車場

L 物語の始まりの場所

私が初めて文化会館を訪れたのは、「あつぎ舞台アカデミー」のオーディションを受けた12歳の時です。初めての舞台上で拍手をもらった感動は、忘れることなく今も胸に焼き付いています。最近、再び文化会館の舞台上立つ機会があり、懐かしい初舞台の日を思い出しました。私の始まり、私の宝物、私の居場所。文化会館にはたくさんの思い出が詰まっています。



アカデミーに出演していた当時の加藤さん(右手前) 今年6月には劇団扉座「リボンの騎士」にゲスト出演した



舞台役者 加藤 萌朝さん (20)

伊勢原市出身。2010年から3年間、あつぎ舞台アカデミーに所属。14年から「いないいないばあ!」ワンワンまつり～みんなでワッショイ～に出演するなど舞台を中心に活躍中。

N 自分の音楽が表現できるステージ



高校生の頃から、音楽の道を志すために自分の可能性をアピールする場が身近にあればと考えていました。文化会館で開催する「あつぎミュージックフェスティバル」はそんな思いを実現できるイベントです。若く才能あふれた皆さんに参加してもらい、自分の音楽を披露してほしいです。



(あつぎミュージックフェスティバル)音楽活動に夢を抱く若者を応援する取り組み、オーディション優勝者は文化会館で有名アーティストと共演できます。

市内在住。KOMA DOGG / LDH MUSIC所属。2012年のデビュー以来、国内外を問わず単独ライブなどを開催し、ヒップホップミュージシャンとして精力的な活動を展開。



吹奏楽×子育て



文化・芸術の今



①子どもと一緒に演奏を楽しめる
 ②活動を通じて交流が広がり、会話を弾む(左が小林さん)
 ③声を掛け合いながら和やかな雰囲気で行われる全体練習
 ④質の高い演奏を目指して週一回の練習に真剣に取り組む
 ⑤キッズコーナーで遊ぶ子どもたち



相模人形芝居×JAZZ

相模人形芝居: 1体の人形を3人で操る「三人遣い」と、鉄砲を構えたような姿で操る「鉄砲ざし」と呼ばれる独特の操法が特徴の人形芝居。県内を中心に庶民の娯楽として親しまれてきた。市内では長谷座と林座が国の重要無形民俗文化財に指定されており、市外の小田原、平塚、南足柄市を含め、現在は計5座が継承する。

早川トリオ: 早川真(ドラム)、山口三重子(ピアノ)、田中喜之(ウッドベース)による3人組ジャズバンド。今年で11回目を迎えた緑ヶ丘公民館でのNHK交響楽団との新春コンサートなどに出演。ライブツアーの重要無形民俗文化財に指定されており、市外の小田原、平塚、南足柄市を含め、現在は計5座が継承する。

「あつ、アンパンマンの歌だ」。楽しい管楽器や打楽器の音につられ、飛び跳ねてリズムに乗る子どもたち。真剣に演奏するママたちも思わず笑みがこぼれます。隊は週に1度、公民館の一室で練習に打ち込んでいます。

子育てと両立
 隊員の多くは、吹奏楽やブラスバンドの経験者です。「子育ての息抜きに」「楽器を演奏できる場所を探していた」「地元で友だちを作りたい」。参加のきっかけは十人十色。おもちゃを持ち寄り練習場にキッズコーナーを作って、子どもを遊ばせながら演奏を楽しんでいます。発足当初から隊を盛り上げてきた代表の小林幸代さん(51・及川)は「子どもの成長や家庭の事情に合わせて、自分のペース

仕事や子育て、日々の暮らしに追われる毎日。限られた時間の中で、大好きな音楽を一杯楽しみたい。吹奏楽サークル「厚木こっこ隊」は、子育て中の親たちが集い、輝く場所です。

文化・芸術は、いつの時代も私たちの暮らしに寄り添い、感動や安らぎをもたらしてきました。今も、たくさんの方が文化に親しみ、日々の力に変えています。市内でも多くの方が、文化を未来につなぐため、活動に打ち込んでいます。

「入れ替わるタイミングはこれくらいかな」もう少し遅くしようか。南毛利学習支援センターでは、長谷座と林座がジャズバンド「早川トリオ」との共演に向けた練習に汗を流しています。ここに至るまでには、数々の不安や葛藤がありました。

長谷座は20年ほど前、担い手不足が原因で伝承が途絶える危機に直面していました。市が実施した後継者育成支援により、伝統の灯をつないだものの、遠のく客足や人員不足など厳しい

「観客の笑顔がやりがい」
 隊は、練習に加え、幼稚園や小学校、福祉施設などでボランティアでの演奏を続けています。2014年にはアミューアツギのオープンでも披露。結成10周年を迎えた昨年は、文化会館の大ホールで単独の演奏会を開きました。

「新しいチャレンジをきっかけに、古くからの舞台も見てもえたらうれしい。これからは、多くの人を笑顔にできるような芝居であり続けたい」と話す熱子さん。大切につないできた伝統を未来へ。厚木の人形芝居の挑戦は続きます。

「入替わるタイミングはこれくらいかな」もう少し遅くしようか。南毛利学習支援センターでは、長谷座と林座がジャズバンド「早川トリオ」との共演に向けた練習に汗を流しています。ここに至るまでには、数々の不安や葛藤がありました。

動き出した歯車
 長谷座は20年ほど前、担い手不足が原因で伝承が途絶える危機に直面していました。市が実施した後継者育成支援により、伝統の灯をつないだものの、遠のく客足や人員不足など厳しい

現実は今も変わりません。「人形芝居をもっと多くの人に知ってもらうために、何かできないか」。長谷座の座長を務める山口熱子さん(長谷)は、座の未来に不安を感じていました。

「育まれるつながり」
 活動は、人と人とのつながりも育んでいます。地方から越しきて3年前に入会した大川沙

「大好きな音楽を、大好きな仲間と一緒にやれるから楽しい」と小林さん。活動は、メンバーたちの日々の暮らしに潤いと活力をもたらしています。

ひとがつながる まちがふくらむ
マイタウンクラブ
<http://www.mytownclub.com/>
 施設の利用や仲間探しに便利
 インターネットで公共施設の予約や市内のサークル情報の検索などができるサービスです。利用・登録方法など詳しくは市HPで確認できます。
 情報政策課 ☎225-2459

人形芝居とジャズが共演
「eZ」を開催
 市民協働提案事業として取り組みます。
 《日時》11月25日 14～16時
 《場所》文化会館
 《出演》相模人形芝居長谷座・林座、早川トリオ、長谷ささら踊り盆唄保存会、Big Wing Jazz Orchestra 他
 《定員》1400人 《費用》無料
 当日直接会場へ。先着順。
 過去の公演をインターネットで見られます
 文化生涯学習課 ☎225-2508
 人形芝居などの郷土芸能を体験してみたい方は、文化財保護課 ☎225-2509へ。

継承と進化の葛藤
 共演に向けて動き出そうとした今年4月、座員たちから不安や戸惑いの声が上がります。「常連のお客さんは共演を望んでいないのでは」「伝統を壊すことにならないか」。熱子さんは座員たちと何度も話し合いを重ねました。「伝統を未来へつなげるために必要な挑戦なんです」。人形芝居を盛り上げたい気持ちは皆同じ。次第に、新たな挑戦を成功させることが、共通の目標になっていきました。

「新しいチャレンジをきっかけに、古くからの舞台も見てもえたらうれしい。これからは、多くの人を笑顔にできるような芝居であり続けたい」と話す熱子さん。大切につないできた伝統を未来へ。厚木の人形芝居の挑戦は続きます。

「観客の笑顔がやりがい」
 隊は、練習に加え、幼稚園や小学校、福祉施設などでボランティアでの演奏を続けています。2014年にはアミューアツギのオープンでも披露。結成10周年を迎えた昨年は、文化会館の大ホールで単独の演奏会を開きました。



デモ公演で好評だった人形芝居体験

40 受け継がれる文化の灯



みに 三谷あかねさん × 横内謙介さん × ゆりこ 内田結莉子さん

〈プロフィール〉三谷あかねさん(19・飯山)「リバーソング」出演、第1期あつぎ舞台アカデミー生。県マクカル・パフォーマンス・アカデミー所属、昭和音楽大学音楽学部ミュージカルコースに在籍。内田結莉子さん(17・林)「リバーソング」出演、第2期アカデミー生。現在は県立厚木高校演劇部に所属し、部長を務める。

〈プロフィール〉横内謙介さん(57)あつぎ文化芸術特別大使。あつぎミュージックフェスティバル実行委員長。劇団扉座、あつぎ舞台アカデミー主宰。県立厚木高校演劇部在籍時に執筆した「山椒魚だぞ!」が全国大会で優秀賞・創作脚本賞を受賞。大学在籍中に劇団「善人会議」を旗揚げし、後年「扉座」に改名。「リバーソング」では脚本・演出を手掛けた。



三谷さん(前列左)と内田さん(同右)が出演した「リバーソング」本番の様子

三谷 みんな先輩の背中を見て、自然と自分もそうしなきゃいいの。
横内 上の子が下の子に教える流れはどいうやって受け継いでいるの。
内田 練習中も上の子が下の子に教えたたり、先生が話すときは自然と静かになつたり。真剣に芝居に取り組み空気ができました。

10年前、文化会館開館30周年記念公演「リバーソング」で出会った3人が、再び集いました。文化会館に思い入れのある皆さんに、当時の思い出やこれからの目標などを聞きました。

11月2日に文化会館が開館40周年を迎えます。皆さんの一番の思い出は何ですか。

横内 僕は高校時代に所属していた演劇部の公演です。開館したばかりの頃に、高校演劇の全国大会で評価された作品を大ホールでやらせてもらったんです。あんなに大勢の前で披露したのは初めての経験でした。

三谷 私の思い出はリバーソングです。初めての舞台で、一緒に出演された榎原郁恵さんにヒマワリを渡す大役をもらえてうれしかったです。

内田 私もリバーソングですね。小1だったので訳も分からずやっていたけど、お客さんの前でお芝居をする楽しさを知る

ことができました。

公演の2年後には「あつぎ舞台アカデミー」が開校しました。

横内 リバーソングに参加してくれた子どもたちが、素晴らしい可能性を秘めていたんです。このまま埋もれさせるのは惜しいと思えました。可能性を磨くため、講師は僕の劇団のメンバー以外にも一流の方をお願いしています。東京のスクールにも負けない環境だと思っています。

三谷 プロの講師に教えてもらえるなんて本当に貴重でした。

内田 家の近くで、稽古も発表もできるなんて、すごく贅沢な思いをさせてもらいました。

横内 でも、初めは本当に大変だったよ。とにかく誰も言うことを聞いてくれなくて。

三谷 最初は自分もみんなも自分勝手でしたよね。大人の方に怒られてばかりで、でも、みんなで一つの舞台を作り上げていく中で、周りを気遣ったり、感謝したり、人として大きく成長できたと思います。

横内 開校から1年経った夏に、初めての舞台を経験したことで、みんな変わったよね。

内田 練習中も上の子が下の子に教えたたり、先生が話すときは自然と静かになつたり。真剣に芝居に取り組み空気ができました。

横内 10年経った今、こうして自分の思いをつないで演劇に向き合ってくれる子たちがいるな

内田 私にはアカデミーで、横内さんから演劇の楽しさを学びました。だから、横内さんが在籍していた厚木高校演劇部に入りたくて、一生懸命勉強して、目標を実現しました。物語をいか自分たちで創作する高校演劇には、人のぬくもりや高校生ならではの葛藤・不安といった、たくさんのメッセージが込められているんです。今は、演劇を通して、そのメッセージを多くの人に伝えたいです。

と感じているんだと思います。

内田 後輩たちも、私たちの背中を見てそう思ってくれたならうれしいですね。

三谷さんと内田さんは、今も演劇の道を歩まれていますか、今後の目標はありますか。

三谷 私は大学でミュージカルを学んでいます。舞台上に立つときは初めてステージに立った文化会館での経験を思い出します。あの時のスタッフさんへの感謝の気持ちやみんなと流した涙があるから今の私がある。その思いを大切に、これからもっとたくさんの方の思い出を、いろいろな舞台上に立ちたいです。

内田 私はアカデミーで、横内さんから演劇の楽しさを学びました。だから、横内さんが在籍していた厚木高校演劇部に入りたくて、一生懸命勉強して、目標を実現しました。物語をいか自分たちで創作する高校演劇には、人のぬくもりや高校生ならではの葛藤・不安といった、たくさんのメッセージが込められているんです。今は、演劇を通して、そのメッセージを多くの人に伝えたいです。



横内さんが手掛けたミュージカルに出演した三谷さん

ら、本当に幸せです。

3人をつなぎ、そして演劇の原点にもなった文化会館は、どんな場所であってほしいですか。

内田 私が横内さんや演劇と出会ったように、たくさんの方にきっかけを与えてくれる文化の中心であってほしいです。

三谷 子どもができたならここに連れてきて演劇に触れさせたい。そして私と同じように興味を持ってくれたらうれしい。私自身も、また文化会館のステージに立つて、たくさんの方に演劇に込められた思いを伝えたいです。

横内 演劇が僕たちをつないでくれたように、文化・芸術は人と人を結び付けてくれるものであり、人から人へ受け継がれていくものです。でも、そのためには「場所」の存在が何よりも大事なんです。演劇にしろ、音楽にしろ、市民であれば「いつか文化会館の舞台上に立ちたい」と思う方も少なくない。文化・芸術に触れるきっかけであり、市民の皆さんの表現の場である文化会館をこの先も守っていくには、多くの人にここに来てもらい、興味を持ってもらうことが必要。そのために、これからいろいろな挑戦を続けていきたいですね。



大会に向けて学校で稽古を重ねる内田さん(中央)

歌や踊りで国際交流

ニュージーランド NZの高校生が市内小学校などを訪問



音楽に合わせた掛け声や踊りを教わる児童ら

子どもたちと一緒に給食を食べるなど、触れ合いを楽しんでいました。

日本にホームステイで訪れていたNZの高校生14人が、10月に、同国のホストタウンである厚木市に立ち寄り、小学校や福祉施設で児童らと交流しました。

訪問した上依知小学校では、6月の運動会で取り組んだ同国の伝統舞踊「ハカ」を6年生が発表し、訪問団を歓迎。訪問団は、感謝の意を込めて、全校生徒300人の前で現地の歌や踊りを披露した他、

市民1300人が来場

文化会館で池上彰さんが講演

池上さんは、誰もが知っている世界情勢などの話題を分かりやすく解説。客席からは時折、笑い声が上がっていました。参加した伊波倅大さん(14)は「世界で起きていることの成り立ちがよく分かった。興味のあるイベントがあったらまた来た」と話していました。



大ホールを埋める市民が来場

講演会は、文化会館の開館40周年を記念し、市と文化振興財団が主催。8月15日に募集を開始したところ、定員を上回る約1830人から応募があり、抽選で参加者を決定しました。

テレビなどでおなじみの池上彰さんを迎えた講演会を、10月に文化会館で開催しました。市民約1300人が、「ニュースから世界を見る」をテーマにした講演に聞き入りしました。

公園が美術館に大変身

野外彫刻造形展を開催



秋晴れの下で展示を楽しむ来場者

「作品が並んでいると公園が普段と違う雰囲気になって面白い。子どもと一緒に楽しめた」と笑顔で話していました。

親子で缶バッチ作りを楽しんでいた黒田拓也さん(29)は「作品が並んでいると公園が普段と違う雰囲気になって面白い。子どもと一緒に楽しめた」と笑顔で話していました。

イベントは、市民の皆さんが文化芸術の発表と鑑賞ができる場をつくろうと開催し、今年で28回目。10月7日から14日までの期間中は、木の葉を使った工作教室や写真教室などの体験型の催しも実施しました。

まちの課題解決を目指して

市民協働提案事業の審査会を実施



審査会は公開で実施された

事業は、09年から開始し、これまで25事業が採用されています。今回は、郷土芸能の普及や子ども食堂の開催など、9事業が提案されました。

審査委員長の山本治彦さん(79)は「採用された事業が、市民の手で長く続いていくようになるとうれしい」と、期待を込めていました。結果は、11月上旬に市ホームページなどで公表されます。

より良いまちづくりに向けた事業を市民が提案し、市と取り組む「市民協働提案事業」の審査会を9月にあつぎ市民交流プラザで実施しました。8団体の代表者が、2019年度の実施に向け、審査員らに目的や効果などを発表しました。

ATSUGI X NEW ZEALAND ホストタウン通信



対象の店舗で物産を買うとスタンプがたまる

NZを感じる体験でスタンプをためよう

市民の皆さんにNZの文化に親しんでもらうため、催しへの参加などでスタンプがたまるスマートフォンアプリのサービスを始めました。7つ集めて応募すると、抽選でNZ往復航空券などの豪華賞品が当たります。

期間中は、指定の店舗でワインやお菓子、料理を販売する他、プラネタリウムではNZの星空鑑賞、図書館では関連図書の特設コーナーが楽しめます。

実施期間 11月1~30日

詳しくは [厚木 NZ スタンプラリー](#) [検索](#)

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウン相手国となったNZとの交流事業などを紹介します。

「市民協働」「現地対話主義」。これは、私が当初から貫いてきた市政運営の信念です。

市長に就任して間もなく、「街の治安が悪く感じる」という声をたびたび耳にしました。この「体感治安」の不安を解消するため、2008年に導入したのが「セーフコミュニティ(SC)」の手法です。以来、市民や団体の皆さんと手を携え、世界基準の安心・安全なまちづくりを推進してきました。



市長 小林 幸良



「安心・安全シンポジウム」を開催しました。10年には国内で3番目に国際認証を取得。現在の年間における刑法犯認知件数と交通事故件数は当時の半分になりました。



建設予定地となった厚木バスセンター東側

新庁舎の建設予定地



整備計画(目標)



詳しくは [厚木市新庁舎整備基本構想](#)

市民の意見を反映

構想は、大学教授や商工団体・自治

建設から47年が経過した市役所本庁舎は、2004年度に免震改修をしたものの、老朽化や浸水防止機能などの面で不安を抱えています。建設時の市の人口は現在の半数以下の約9万人。利用者や業務の増加に対応するため、第二庁舎を借用するも、賃料負担や窓口の分散化によるサービス低下も課題となっています。市では、各課題を解消するため、新庁舎の整備を決めました。

会などの代表者、公募市民ら13人で組織する「庁舎建設等検討委員会」の提言の他、市民の皆さんの声を聞き策定しました。委員会では、約1年をかけて建て替えの必要性や新庁舎の建設予定地などを検討。委員長の神保忠男さんは「市の発展につながる施設になってほしい。最優先事項として整備を進めることを望む」と期待を込めます。自治会や子育て世代、学生などの幅広い年代を対象に実施した意見交換会やアンケートでは「公共交通機関で行きやすい場所にしてほしい」「無駄なお金がかからないように」といった声が多く寄せられました。

構想は「安心・安全を支え、さまざまな機能と融合した居心地の良い庁舎」を基本理念に、庁舎の機能や規模などを定めています。今後は、消防本部をはじめ、国や県の機関との一体整備の可能性や整備手法・費用などを定めた、より具体的な計画を策定します。厚木の確かな未来のため、新庁舎の整備を進めていきます。

☎市街地整備課 225-2470

市役所は市民の皆さんが快適に利用でき、災害に強い施設であることが必要です。現庁舎の老朽化や窓口の分散化などの課題を解決するために、市では、新庁舎の整備を決定。建設予定地や機能、スケジュールなどを定めた基本構想を策定しました。

Zoom Up

より便利で安心・安全な市役所に

新庁舎整備の基本構想を策定

災害に強く利便性の高い庁舎へ

せられました。

新庁舎整備の

ここが知りたい

必要性・利便性・安全面など、皆さんの疑問にお答えします。

なぜ建て替えが必要なの？

本庁舎の老朽化や第二庁舎との分散化などの課題を解決し、災害対応力を向上させるためです。

【現庁舎の課題】

- ① 本庁舎の老朽化（建築から47年）
免震改修は実施しているものの、給排水・電気設備などが老朽化し維持費が増加。このまま使う場合、大きな設備更新が必要です。
- ② 庁舎の分散化
窓口が分散し利便性が低く、第二庁舎の賃料に毎年約2億3000万円かかっています。
- ③ 災害対応力の向上
大規模な災害にも対応できるように、非常用電源や備蓄倉庫、浸水防止などの機能をより高めていく必要があります。



現在の本庁舎は、窓口や待合場所の不足も課題となっている

Q どんな施設になるの？

A 窓口や待合場所が広くなります。バリアフリーに配慮し、図書館などを併せた複合施設として整備します。

➡ 市保健福祉センターやアミューあつぎなどの市関連施設と近くなり、連携ができるため、より便利な施設になります。

Q 渋滞対策は大丈夫？

A 新庁舎を整備した場合の交通量を試算した結果、現在のままでも問題はありませんが、バスセンターの機能向上や道路の拡幅、新設などでより良い交通環境を整えます。

まちのシンボルとなる施設に

庁舎建設等検討委員会
委員長 神保 忠男さん(73)



新庁舎は、図書館や子ども科学館をリニューアルする(仮称)こども未来館など、休日でも利用者が多い施設と併設して整備するよう意見をまとめました。まちのにぎわい創出の中心となり、みんなから愛されるシンボルになることを期待しています。

Q 市民の声は取り入れている？

A アンケートや意見交換、パブリックコメントなどで約2000人から意見を聞きました。

【多かった声】

- ・建物や窓口をまとめる
- ・無駄な支出を抑える
- ・公共交通機関で行きやすい場所にする
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮する



大学生・高校生とのワークショップも実施

Q 今より川に近づくけど大丈夫？

A 現庁舎と建設予定地はハザードマップでの浸水想定に違いはありません。新庁舎には、高度な浸水防止設備を整え、より安全性を高めます。

Q 現在地での建て替えと移転の違いは何？

A 移転をすると、現庁舎を使いながら建設できるため、仮庁舎の整備費用などがからず最大で約50億円安く済みます。

Q にぎわい対策は大丈夫？

A 市役所には年間約30万人が訪れます。併設する施設との一体利用や周辺の商業施設との回遊性を高め、さらなるにぎわいを創出します。

タウンガイド

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☎ = 申し込み
☎ = 電話番号
✉ = Eメール
☎ = 問い合わせ
☎ = ファクス番号
HP = ホームページ
♻ = マイタウンクラブ(♻印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「♻」と記されたものは、申し込みもできます)

放課後児童クラブ入所児童募集

市内23小学校区にある放課後児童クラブで、2019年度の入所児童を募集します。

【対象】各学区内の小学生で①保護者全員が就労(15時以降まで勤務)や疾病などで放課後に保育できない②保護者などが19時までに迎えが可能な全ての児童**【定員】**各クラブで異なる**【時間】**平日(学校休業日を除く)=放課後～19時。土曜、長期休業日など=7時30分～19時(日曜、祝日、年末年始などは休所)**【費用】**育成料(月額)=4000円(18時まで)、4800円(19時まで)。クラブ費(月額)=3500円(おやつ代、教材費など)。**【】**こども育成課や児童クラブで配布する申請書(市HPからダウンロード可)に必要書類を添え、12月3～14日に直接、こども育成課☎225-2582へ。



あつぎ青春劇場

①11月17日、15～16時。唄う!青春劇場カラオケ大会(ゲスト・浪ちひろ)②11月24日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会(出演・初音家左吉)。アミューあつぎ。定員各回100人。500円③11月25日、13時30分～15時30分。唄う!青春劇場カラオケ大会グランドチャンピオン大会&歴代グランドチャンピオンステージ(ゲスト・宮川たかし、立花伸一、浪ちひろ、井上まり子、椿はる奈)。レゾナントホテル厚木。定員300人。1000円。**【】**①②当日直接会場へ③当日10時から整理券を配布。いずれも先着順。☎商業にぎわい課☎225-2834。

ななさわ森のようちえん

■森のたんけん隊・秋
11月11日、①11～12時②13時30

分～14時30分。未就学児と保護者各回15組。無料。**【】**当日直接会場へ。先着順。

■すいようび!森のたんけん隊

12月5日、14時～16時30分。市内在住で3歳以上の未就学児20人。250円(材料費、保険料)。**【】**直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、電話番号、参加者全員の氏名(ふりがな)、性別、年齢を書き、11月20日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-4708へ。抽選。♻☎182469

いずれも内容は、森の探検や遊びなど。会場は七沢自然ふれあいセンター☎248-3500。

天体観察会・流れ星のひみつ

12月14日、18～20時(宿泊可)。七沢自然ふれあいセンター。天体の講座と観察など。市内在住の小学生以上50人(未成年者は保護者同伴)。無料(宿泊900円、材料費、リネン代、保険料)。**【】**直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、電話番号、参加者全員の氏名(ふりがな)、性別、年齢、宿泊の有無を書き、11月19日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。♻☎182471

あそぼう!まなぼう!まめの木タイム

11月12日、11～12時。及川児童館。手遊びや親子遊び、発達に関する講座など。乳幼児と保護者20組。無料。**【】**当日直接会場へ。先着順。駐車場はありません。☎療育相談センター☎225-2252。

ふれあいデー・いつもここでできること

11月11日、10～15時。七沢自然ふれあいセンター。丸太切りなどの無料イベントや野外炊事他(有料)。**【】**当日直接会場へ。☎七沢自然ふれあいセンター☎248-3500。

あつぎ5大学共同公開講座

11月12日、16時～17時30分。神奈川工科大学ITエクステンション

センター(本厚木駅前)。大学での熊本地震の被災体験を学ぶ。無料。**【】**当日直接会場へ。駐車場はありません。☎東京農業大学☎270-6605。

こころのふれあいフェスタ緑ヶ丘

11月24日、13～16時。緑ヶ丘公民館。心の病がテーマの講演や当事者の体験発表。定員150人。無料。**【】**当日直接会場へ。先着順。☎ハートラインあゆみ☎259-5712。

食生活改善推進員育成研修会

11月29日、10～14時。あつぎ市民交流プラザ。うま味を凝縮する無水料理の実習。食生活改善推進員養成講座修了証を持つ市内在住の方24人。600円。**【】**11月16日までに健康づくり課☎225-2201へ。抽選。

日本赤十字社救急員養成講習会

12月2・8・9日(全3回)、9時15分～17時15分。保健福祉センター。心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなどを学ぶ。全日程参加できる15歳以上30人(市内在住在勤在学の方を優先)。3200円。**【】**往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、市外の方は勤務先または学校名を書き、11月21日(必着)までに〒243-8511福祉総務課☎225-2200へ。抽選。検定合格者には認定証を交付。♻☎182532

まるごと福祉!就職相談会

11月24日、16～20時。保健福祉センター。市内の介護事業所や障がい児・者支援施設の担当者による就職相談会。無料。**【】**当日直接会場へ。☎介護福祉課☎225-2240。

年末調整などに関する説明会

11月15日、13時30分～16時。文化会館。年末調整や法定調書、給与支払報告書の作り方などの説明。事業所や事業主の方1400人。無料。**【】**当日直接会場へ。先着順。☎年末調整・法定調書=厚木税務署☎221-3261。給与支払報告書=市民税課☎225-2011。

市街化区域と都市計画道路の変更に関する素案の閲覧・公聴会

南部産業拠点(酒井地区)の厚木都市計画区域区分の変更と厚木都市計画道路3・4・12号酒井長谷線の都市計画素案の閲覧・公聴会を実施します。**【閲覧】**11月16日～12月7日(土・日曜、祝日を除く)。県・市都市計画課**【公聴会】**12月21日、19～21時。

市役所第二庁舎。市内または伊勢原市在住(道路のみ)または土地の権利者など10人程度。**【】**都市計画課にある申出書を、11月16日～12月7日(必着)に、直接または郵送で〒243-8511都市計画課☎225-2400へ。申し出が無い場合は中止。

ごみ焼却場の変更に伴う都市計画案の縦覧と意見書の受け付け

【期間】11月16～30日**【縦覧場所】**都市計画課、市HP**【意見書】**縦覧場所にある用紙で確認。☎都市計画課☎225-2400。

生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書の受け付け

【期間】11月5～19日、8時30分～17時15分(土・日曜を除く)**【縦覧場所】**都市計画課**【意見書】**縦覧場所にある用紙で確認。☎都市計画課☎225-2401。

まち協住まいの相談室

12月4日、①13～14時。リフォームに関する講演②13～17時。リフォームや住まい探しなどの相談会。あつぎ市民交流プラザ。定員①30人②10人。無料。**【】**11月9日までにかながわ住まいまちづくり協会☎045-664-6896へ。先着順。

11月9～15日は秋の火災予防運動

「忘れてない?サイフにスマホに火の確認」をスローガンに、消防本部や消防署、消防団が、立入検査や消防車での巡回を実施します。11月9日は吹鳴試験のため、7時に市内全域でサイレンを鳴らします。☎予防課☎223-9371。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、10月16日付けで、新たに山本正彦氏(52)が教育委員会委員に任命されました。☎教育総務課☎225-2600。



みんなの声でつくるまち

【パブリックコメント】
■市自治基本条例の見直し(総点検)結果**【閲覧期間】**11月1日～12月3日**【閲覧場所】**市民協働推進課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP**【応募方法】**閲覧場所にある用紙で確認。☎市民協働推進課☎225-2141。

ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E-Mail

インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

10月1日号「広報あつぎ」を読んで
◆子どもならではの発想で作られた作品をぜひ見に行きたいと思った/30代女性 ◆最近台風や地震などの被害が全国的に広がっているの、ハザードマップがあると便利だし安心/20代女性 ◆早期発見できればがんは治る病気。人ごとと思わずしっかり検診を受けたい/40代男性 ◆20年前と比べて市街地の治安は格段に良くなった。私も機会があればセーフコミュニティの活動に参加しようと思う/70代男性

編集後記 子どもたちとお芝居の出会い、ジャズと伝統芸能の巡り合い、趣味を共にする仲間たちとの出会い、そして恩師との再会。「文化・芸術をつなぐには、それを支える『場所』が不可欠」という横内さんの言葉どおり、文化会館があったからこそ、出会い、つながれたものがこのまちにはたくさんあります。文化会館でのさまざまな出会いを目の当たりにし、一市民として、この場所を誇りに感じることができた取材になりました/野本

にぎわい 爆発! あつぎ国際

大道芸

アクロバットやジャグリング、パントマイムなど、多彩なパフォーマー38組が大集結。街が丸ごと、笑顔と興奮に包まれる特別な2日間です。
☎商業にぎわい課 ☎225-2834



企画プロデューサー 橋本 隆雄さん(75)

臨場感を味わって
大道芸は、場所や観客の反応で内容が変わり、そこでしか体感できないことが一番の面白さです。厳選した一流パフォーマーの演技をぜひ厚木で味わってください。

街全体が
ドรามマティック

11/10-11
11-18時
本厚木駅周辺

同日開催

- ① まち元気物産フェア・あつぎ技能祭・厚木商工会議所女性会工作&折り紙教室
- ② あつぎ消防団ふれあい広場 (11日)
- ③ スーパーキッズランド
- ④ あつぎグルメフェア
- ⑤ 南口ホコ天まつり (10日)
- ⑥ CHiKaフェス

★大道芸演技ポイント
①インフォメーション
②フードコート



公式ガイドブック (100円) で出演芸人やタイムスケジュールを確認できます。
詳しくは [あつぎ国際大道芸](#)

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV11/1~
大道芸の魅力を紹介

連載 25周年 自然歳時記

● イソヒヨドリ ●
ヒタキ科

全長 23 ㎝ほどの大きさ。雄は全体が青く赤褐色の腹、雌は濃い黄土色で目立たない色合い。繁殖期によくさえずる／玉川沿いにある衛生プラント内のハナミズキで見つけた。 写真・文／吉田文雄



かごきぼし 籠堰橋から大山を眺めていると、ガードレールに鳥が止まった。近づいても逃げる様子もなく、しばらくすると赤い実をくわえてきておいしそうに食べた。目立たない雌のイソヒヨドリだった。街路樹のハナミズキは、すっかり葉を落とし赤い実が青空に映えて美しく光っている。

せいらんしゆく 今度はふわふわと優雅に、青藍色の背中と赤褐色のお腹が美しい雄のイソヒヨドリが飛んできた。 子どもの頃、船の帆柱で楽しそうにさえずっていたことを思い出した。本来この鳥は海岸の岩場や崖をすみかにするが、近年は大きな建物の隙間などに巣を作るようになった。

厚木市の人口 (10月1日現在) **世帯数** 9万9336世帯 (前月比7世帯増) **人口** 22万5204人 (前月比136人減) 男11万6487人・女10万8717人